



富士山クラブ西白塚協定林
森の混交林化と野鳥の生息状況について

認定特定非営利活動法人富士山クラブ NPO法人富士山ホシガラスの会

令和7年度

目次

はじめに	1
協定林の林相	2
ウラジロモミ林の林相	3
ヒノキ林の林相	4
調査方法と調査結果	5
調査地点	6
あとがき	7

はじめに

生物多様性をより豊かにしてゆくために実施してきた協定林での活動の効果を周辺の人工林と比較確認するため、野鳥の生息調査を実施した。比較対象とする人工林は植林後、約50年経過したヒノキ林と約70年経過したウラジロモミ人工林で、ウラジロモミはこの標高の天然林に広く分布している郷土樹種として広い面積に植林されている。ヒノキ人工林も点在しているが生育は遅い。



協定林の林相



1996年の台風17号によるヒノキ人工林の風倒跡地に植樹されたブナなどが成長を続けている。植樹された樹種はブナ、ミズナラ、ヒメシャラ、カエデ類などである。植樹エリアには希少種のサンショウバラ(※)が複数みられることから周辺地域より土壤水分量が比較的多いのではないかと思われる。隣接するヒノキ林は風倒被害を受けていないことから土壤水分量と風倒被害の相関があるのかもしれない。(※ 富士山の森では土壤水分量が多い場所にサンショウバラが多くみられる)



間伐が行われ、下層には低木がみられる。一部に柵が設置され、柵内と外では植生の違いがみられる。



天然林のミズナラがナラ枯れのため倒壊し、大きな空間ができた。風倒で起こされた根の裏側にオオルリとミソサザイの巣が確認された。

ウラジロモミ林の林相



植樹されたのは大宮林道を隔てた協定林のウラジロモミと同じ時期であり、間伐が行われ、伐採木は放置されている。樹高が高く、空間には落葉広葉樹が点在し、林床には苔が多い。隣接している西白塚駐車場、林道を隔てた協定林の二次林、同じく協定林の植樹エリアに囲まれ、下層の植物、中層の低木も野鳥が棲みやすい環境となっており、周辺部とともに野鳥の生息エリアの一部となっている。

下中層の樹木



キハダ、イヌシデ、カエデ類などの落葉高木と、チドリノキ、オニシバリなどの低木が見られる。

土壌の流出



写真は絶滅危惧種のヤマシャクヤク。他にもイネ科植物、ツルシロカネソウ、セントウソウなど、多くの草本植物が見られる。

ヒノキ林の林相



植林から約50年経過しており、間伐が行われてから10年以上経過していると思われる。間伐されたヒノキは放置され、その場で朽ちている。枝打ちが行われないうち空間には細い枝が多く、野鳥が移動する障害となっているため、野鳥には住みにくい環境である。林床の植物は貧相であり、野鳥の餌は少ないと思われる。林の外側と林道の空間では野鳥の声が聞こえたがミソサザイの他はヒノキ林には入ってこない。

林床の植物



苔類とウワバミソウ、ミヤマカタバミなど、わずかな植物しか見られない。

土壌の流出



保水力がないため土壌が流されている。沢状の地形を好むミソサザイが確認された。

調査方法と調査結果

調査方法

林内の定点で30分間に確認された野鳥のみを記録した。(周辺部から聞こえた野鳥は含めない)

調査日

2025年10月28日、11月28日

調査者

日本野鳥の会東富士元代表 菅 常雄

鳥類目録第8版による

	目名	科名	種名	協定林	ウラジロモミ林	ヒノキ林
1	スズメ目	カラス科	カケス	○		
2	スズメ目	カラス科	ハシブトガラス		○	○
3	スズメ目	シジュウカラ科	ヒガラ	○	○	
4	スズメ目	シジュウカラ科	ヤマガラ	○		
5	スズメ目	シジュウカラ科	コガラ	○	○	
6	スズメ目	シジュウカラ科	シジュウカラ	○	○	
7	スズメ目	ゴジュウカラ科	ゴジュウカラ	○	○	
8	スズメ目	ヒヨドリ科	ヒヨドリ	○	○	○
9	スズメ目	ウグイス科	ウグイス	○		
10	スズメ目	エナガ科	エナガ	○		
11	スズメ目	キクイタダキ科	キクイタダキ	○		
12	スズメ目	ミソサザイ科	ミソサザイ			○
13	スズメ目	ツグミ科	アカハラ	○		
14	スズメ目	ツグミ科	ツグミ		○	
15	スズメ目	アトリ科	アトリ	○	○	
16	スズメ目	アトリ科	イカル	○	○	
確認種(種)				13	9	3

調査地点



大宮林道・①協定林(左)と②ウラジロモミ人工林(右)



表白塚林道と③ヒノキ人工林(左奥)

あとかぎ

今回の調査で森の中間層と下層植生が野鳥の生息環境に大きく影響していることがわかった。また、林道などの空間には野鳥が多く見られることがわかったが、空間だけではなく林縁部に植物が多いことも影響しているのではないかと考えられる。

協定林の生物多様性をより豊かにするため、この度の調査結果を今後の間伐、管理などに役立ててゆきたい。

NPO法人富士山ホシガラスの会
〒412-0006 静岡県御殿場市中畑1691-14
TEL 0550-89-6905 FAX0550-73-0434
ホームページ <http://hosigarasu.org>
Eメール fujisan@hosigarasu.org